

[ デバイス ]

2012年3月9日  
 富士通セミコンダクター株式会社  
 株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリング

## 大熊町立小学校会津若松校のパソコンルームの機能一式を無償整備 ～空き教室にリユースパソコン 50 台提供～

富士通セミコンダクター株式会社(以下、富士通セミコンダクター、注1)、および株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリング(注2)は、このほど地域貢献活動の一環として、大熊町立小学校(熊町小・大野小)会津若松校において、パソコンルームの機能一式を無償整備するプロジェクトを開始し、4月の新学期からの活用を目指します。

これにより、昨年3月11日の東日本大震災の発生に伴う福島第一原子力発電所の事故によって放射能警戒区域に指定された福島県双葉郡大熊町の児童が、同県会津若松市における避難生活開始以来、パソコンを使った学習が行えなかった状況の解消を図ります。この取り組みを通して、富士通セミコンダクターグループは、「避難生活中においても十分な教育を提供する」という大熊町復興構想の主要施策に貢献していきます。

### 【概要】

当プロジェクトは、会津若松市に本社を置く株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリングが、富士通グループ各社とNPO法人の協働体制を構築して推進します(図1.参照)。富士通グループ内の遊休パソコンの寄贈を受けたNPO法人イー・エルダー(注3)が、正規のOSをインストールし再利用可能になったパソコンを大熊町立小学校(熊町小・大野小)に提供します。パソコンルームへの搬入後は、富士通セミコンダクターほかの社内ボランティアにより、LANおよびインターネット環境を構築するとともに、授業で活用していただくために教職員の方々への操作説明会を実施する予定です。また提供後は、情報化教育や環境教育など、授業支援の面でも貢献していきたいと考えています。

### 【主な提供内容】

- ・富士通製リユースパソコン 50台
- ・机および椅子 40セット
- ・レイアウト計画 1式
- ・ネットワーク環境 1式

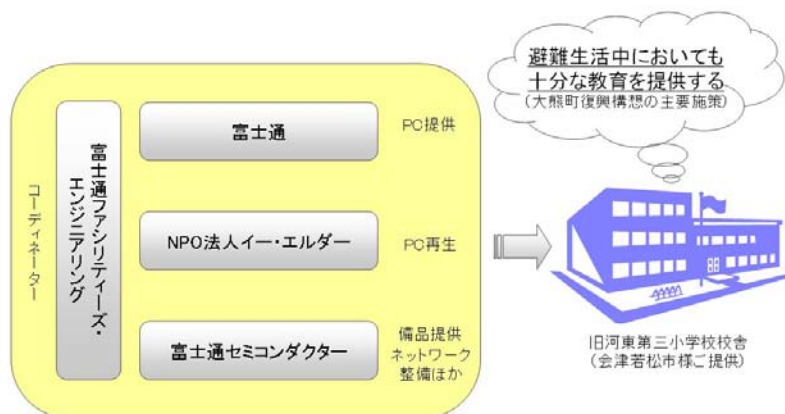


図1. 協働体制

## 【プロジェクトの背景】

株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリングは、地域貢献の一環として環境出前授業による学習支援を申し入れるために同校を訪問しました。その際、放射能汚染のために同校が大熊町の校舎からパソコンを持ち出せず、現校舎のパソコンルームが無装備であり、学校教育に支障をきたしていたことを知り、今回のご支援にいたしました。

## 【大熊町立小学校(熊町小・大野小)会津若松校について】

福島第一原子力発電所から5km圏内にある大熊町立熊町小学校(注4)と同町立大野小学校(注5)は、同地域が放射能警戒区域に指定されたことから、2011年4月に会津若松市内へ避難し、廃校となっていた旧会津若松市立河東第三小学校(福島県会津若松市河東町大田原字村中186)の校舎を借り受け、2校が併用する形で開校しました。

以上

## 【注釈】

(注1) 富士通セミコンダクター株式会社：本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡田 晴基。

(注2) 株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリング：

本社：福島県会津若松市、代表取締役社長：三島 周一。

事業概要：半導体工場へのエネルギーおよび各種ユーティリティの供給事業等。

(注3) NPO 法人イー・エルダー東北支部：所在地：宮城県名取市、支部長：武藤 正勝。

(注4) 大熊町立熊町小学校：所在地：福島県双葉郡大熊町、校長：佐々木 茂美(児童数138名)。

(注5) 大熊町立大野小学校：所在地：福島県双葉郡大熊町、校長：大清水 久雄(児童数206名)。

## 【本件に関するお問い合わせ】

富士通セミコンダクター株式会社

電話 045-755-7009(直通) 受付時間：9時～17時(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリング 地域ビジネス開発室

電話 0242-38-2745(直通) 受付時間：9時～17時(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

お問合せフォーム：<http://edevice.fujitsu.com/jp-qform.html>